

For Earth, For Life
Kubota

ON YOUR SIDE

決算説明資料 2023年度通期

(株)クボタ 代表取締役副社長執行役員 企画本部長
吉川 正人



2024年2月15日 (木)

2023年度 連結決算概要

(億円)	2023年度 通期	2022年度 通期	増減	
			金額	%
売上高	30,207	26,770	+ 3,437	+ 12.8
国内	6,431	6,024	+ 408	+ 6.8
海外	23,776	20,746	+ 3,030	+ 14.6
営業利益	10.9% 3,288	8.0% 2,144	+ 1,144	+ 53.4
税引前利益	11.3% 3,423	8.6% 2,312	+ 1,111	+ 48.1
親会社の所有者に帰属する 当期利益	7.9% 2,385	5.8% 1,565	+ 820	+ 52.4
ROE	11.8%	8.8%	+ 2.9P	

3Q時予想比増減	
金額	%
+ 707	+ 2.4
+ 111	+ 1.8
+ 596	+ 2.6
+ 338	+ 11.5
+ 353	+ 11.5
+ 335	+ 16.3

米ドル 平均レート(円)	141	131
ユーロ 平均レート(円)	152	138
パーツ 平均レート(円)	4.04	3.75

売上の為替影響は前年比で+1,450億円

● 機械 26,367億円（前年同期比+3,105）

日本

農機市場は米価低迷で引き続き弱いものの、高馬力帯が伸長。

北米

トラクタは、景況感の減速により Residential市場は低迷、農用市場は農作物価格下落に伴い減速傾向に転じる。建機は底堅い住宅市場や、インフラ開発需要を背景に好調。

欧州

建機・エンジンは公共工事需要に支えられ堅調も後半からは減速。トラクタは市場は弱含むも、在庫充足が進む。

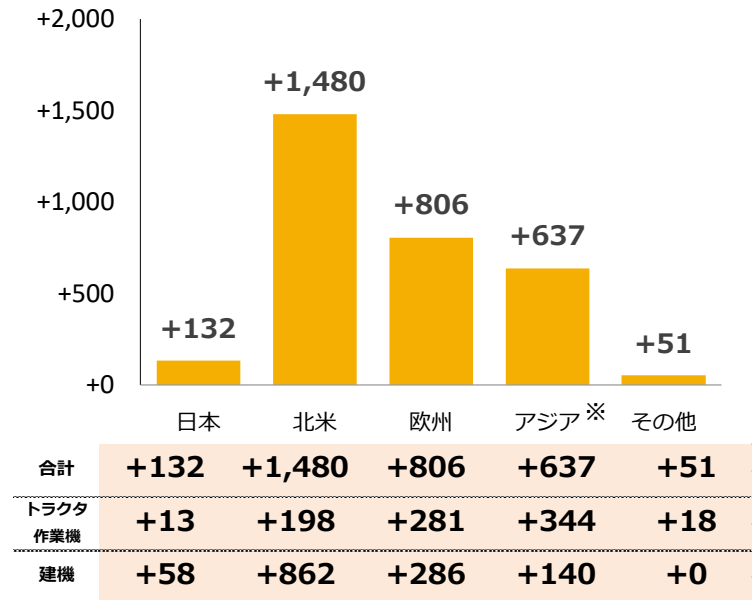
アジア

タイは干ばつによる買い控えにより減。インドは前半の豊作に支えられ畑作市場が好調。中国は、前年の排ガス規制に対する駆け込み需要の反動により市場は縮小。

その他

豪州は年間では堅調に推移するも後半から減速傾向。

■ 機械仕向地別売上高増減（億円）



※2022年第2四半期よりエスコーツ社を連結子会社化



水・環境 3,645億円（前年同期比+369）

パイプシステム

鉄管は価格上昇に伴う代替管へのシフトにより弱含み。合成管は集合住宅や非住宅向けが堅調。

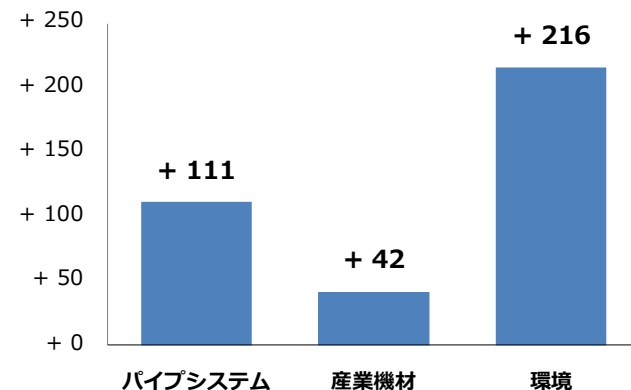
産業機材

反応管は海外プラント新設需要に支えられ堅調。空調は国内工場回帰の動きにより受注が順調。

環境

ポンプは前年の大型案件の影響により減だが計画通り。排水処理は国内工場向けが好調。O&M売上は着実に増加。

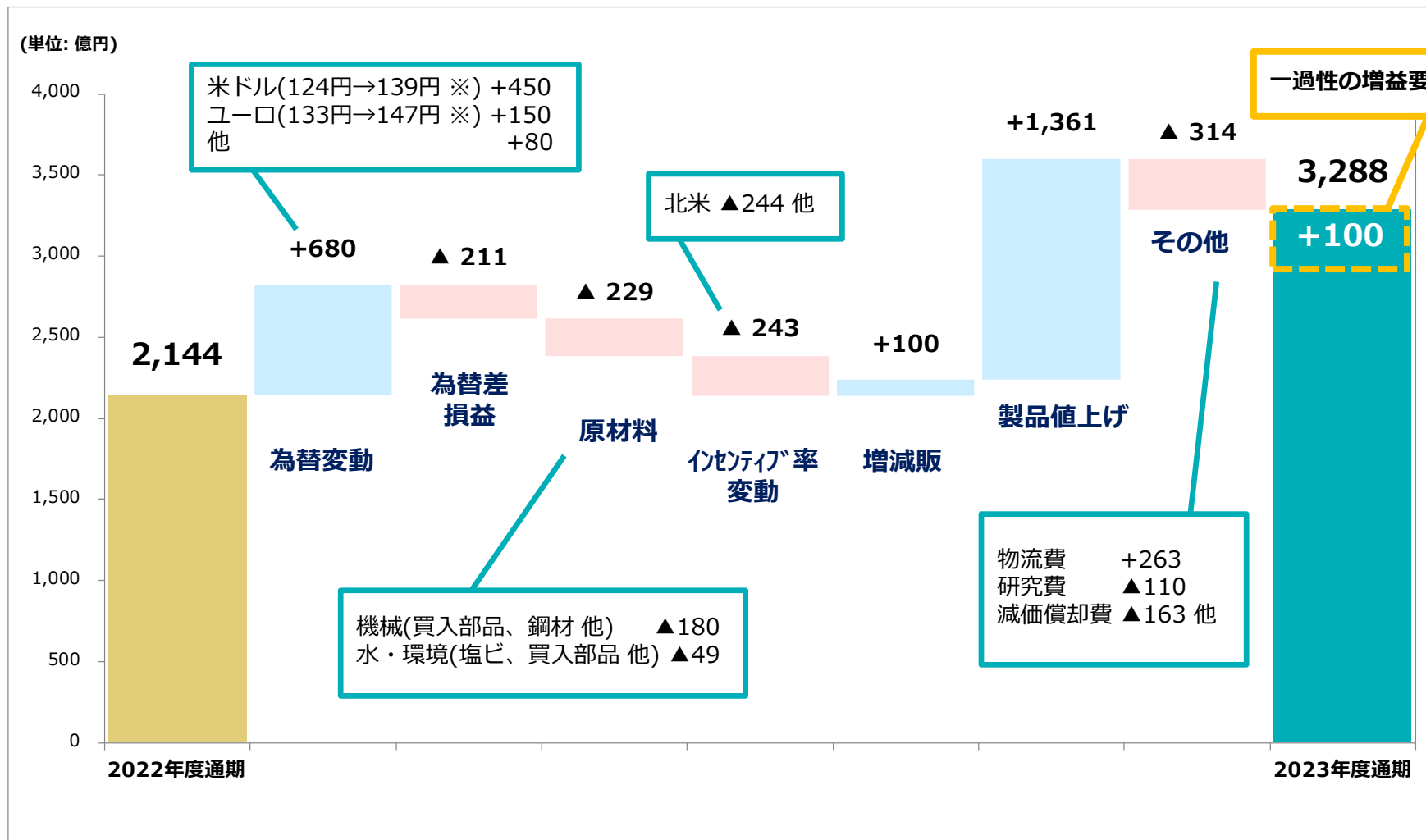
■ 水・環境事業別売上高増減（億円）



その他 195億円（前年同期比▲37）

物流など各種サービス事業より構成。

営業利益 (+1,144億円) の増減要因



※日本からの製品輸出にかかる輸送、在庫期間を加味した利益実現レート

事業セグメント別営業利益

(億円)		2023年度 通期	2022年度 通期	増減
機械	売上高	26,367	23,262	+ 3,105
	セグメント利益	3,558	2,326	+ 1,232
	利益率	13.5%	10.0%	+3.5P
水・環境	売上高	3,645	3,276	+ 369
	セグメント利益	305	173	+ 133
	利益率	8.4%	5.3%	+3.1P
その他	売上高	195	232	▲ 37
	セグメント利益	15	31	▲ 16
	利益率	7.7%	13.3%	▲5.6P
調整※	セグメント利益	▲ 590	▲ 385	▲ 205
計	売上高	30,207	26,770	+ 3,437
	営業利益	3,288	2,144	+ 1,144
	利益率	10.9%	8.0%	+2.9P

※調整には親会社での管理部門の費用や基礎研究費、為替差損益が含まれています

(億円)		2023年度 期末	2022年度 期末	増減	為替を除く 増減
現金及び現金同等物		2,221	2,258	▲ 37	
営業債権		9,455	7,794	+ 1,661	+ 1,152
金融債権		19,015	16,845	+ 2,170	+ 875
棚卸資産		6,680	6,445	+ 236	▲ 190
その他		16,221	14,309	+ 1,912	
資産合計		53,592	47,651	+ 5,942	
有利子負債		19,902	16,111	+ 3,791	+ 2,822
営業債務		3,009	4,548	▲ 1,539	
その他		6,521	5,967	+ 554	
負債合計		29,432	26,626	+ 2,806	
親会社の所有者に帰属する持分		21,758	18,745	+ 3,013	
非支配持分		2,403	2,280	+ 123	
資本合計		24,161	21,025	+ 3,136	
負債及び資本合計		53,592	47,651	+ 5,942	
DEレシオ (ネット)		+ 0.81	+ 0.74	+ 0.07	
金融を除くDEレシオ (ネット)		+ 0.09	▲ 0.03	+ 0.12	

(億円)	2023年度 通期	2022年度 通期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 173	▲ 77	▲ 96
当期利益及び減価償却費	3,673	2,637	+ 1,036
金融債権の増加	▲ 925	▲ 772	▲ 152
その他	▲ 2,921	▲ 1,942	▲ 979
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,734	▲ 3,185	+ 1,451
有形固定資産及び無形資産の取得	▲ 1,725	▲ 1,697	▲ 28
その他	▲ 10	▲ 1,488	+ 1,479
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,784	2,826	▲ 1,042
為替レート変動の現金及び現金同等物に対する影響	86	108	▲ 22
現金及び現金同等物の純減	▲ 37	▲ 328	+ 292
フリーキャッシュ・フロー	▲ 1,907	▲ 3,262	+ 1,355

財政状態計算書

(億円)	2023年度 期末		2022年度 期末	
	金融事業	金融事業を除く ベース	金融事業	金融事業を除く ベース
資産合計	22,379	33,783	19,522	29,462
現金及び現金同等物	337	1,885	231	2,027
営業債権	273	9,190	293	7,521
金融債権	19,015	-	16,845	-
棚卸資産	-	6,680	-	6,445
有形固定資産	167	7,103	111	6,246
その他	2,587	8,924	2,043	7,223
負債合計	18,677	13,123	16,800	11,668
有利子負債	17,641	3,621	15,448	1,571
その他	1,036	9,502	1,352	10,097
資本合計	3,701	20,660	2,722	17,794

小売金融債権遅延率

(億円)	2023年度 期末	2022年度 期末	増減	
	金額	金額	金額	%
債権残高	19,261	16,845	+ 2,416	+ 14.3
内90日以上遅延	150	113	+ 37	+ 33.2
遅延率	0.8%	0.7%	-	+ 0.1P

業績予想

2024年度業績予想

(億円)	2024年度 (予想)	2023年度 (実績)	増減	
			金額	%
売上高	30,500	30,207	+ 293	+ 1.0
国内	6,470	6,431	+ 39	+ 0.6
海外	24,030	23,776	+ 254	+ 1.1
営業利益	10.5% 3,200	10.9% 3,288	▲ 88	▲ 2.7
税引前利益	10.9% 3,330	11.3% 3,423	▲ 93	▲ 2.7
親会社の所有者に帰属する 当期利益	7.4% 2,260	7.9% 2,385	▲ 125	▲ 5.2

米ドル 平均レート(円)	140	141
ユーロ 平均レート(円)	153	152
バーツ 平均レート(円)	4.00	4.04

売上の為替影響は前年比で▲140億円

機械 26,540億円（前年同期比+173）

日本

農機市場は米価は上昇に転じるもまだ生産コスト高が先行しており、農家収益の本格的な回復はまだ見込めない。

北米

小型トラクタ市場は調整局面が続く競争が激しくなる一方、汎用市場は供給量の回復に伴い緩やかな回復に転じる見通し。農用市場は農作物価格の下落に伴い減少傾向。建機市場は住宅と政府のインフラ開発需要が底堅いが、在庫充足が進み市場が落ち着きを取り戻しつつあるため前年並みを想定。

欧州

建機市場は金利上昇による投資意欲減退が鮮明となり縮小傾向。トラクタ市場は前年同レベルの弱い水準が続く。

アジア

タイ市場は干ばつ解消の兆しが見えず買い控えの傾向が続く、稲作、畑作市場ともに苦しい状況が続く。インド市場は降雨量が不足気味ではあるが、経済成長と機械化の進捗により市場は緩やかな成長を見込む。中国市場は排ガス規制による駆け込み需要の反動から徐々に回復するも、補助金の削減もあり回復は限定的。

その他

豪州は金利上昇による景況感の減速によりトラクタ市場は弱含み。



水・環境 3,780億円（前年同期比+135）

パイプシステム

鉄管は機材や労務費の単価上昇が続き代替管へのシフト傾向は続くも、大型案件の納入により堅調に推移。
合成管は住宅・非住宅向けで前年並みだが、プラント向けでは伸長。

産業機材

反応管市場は世界的なエチレン需要を背景に堅調。
鋼管市場は労務費や資材の高騰により需要は弱含み。
空調は国内での工場やデータセンター建設需要に支えられる。

環境

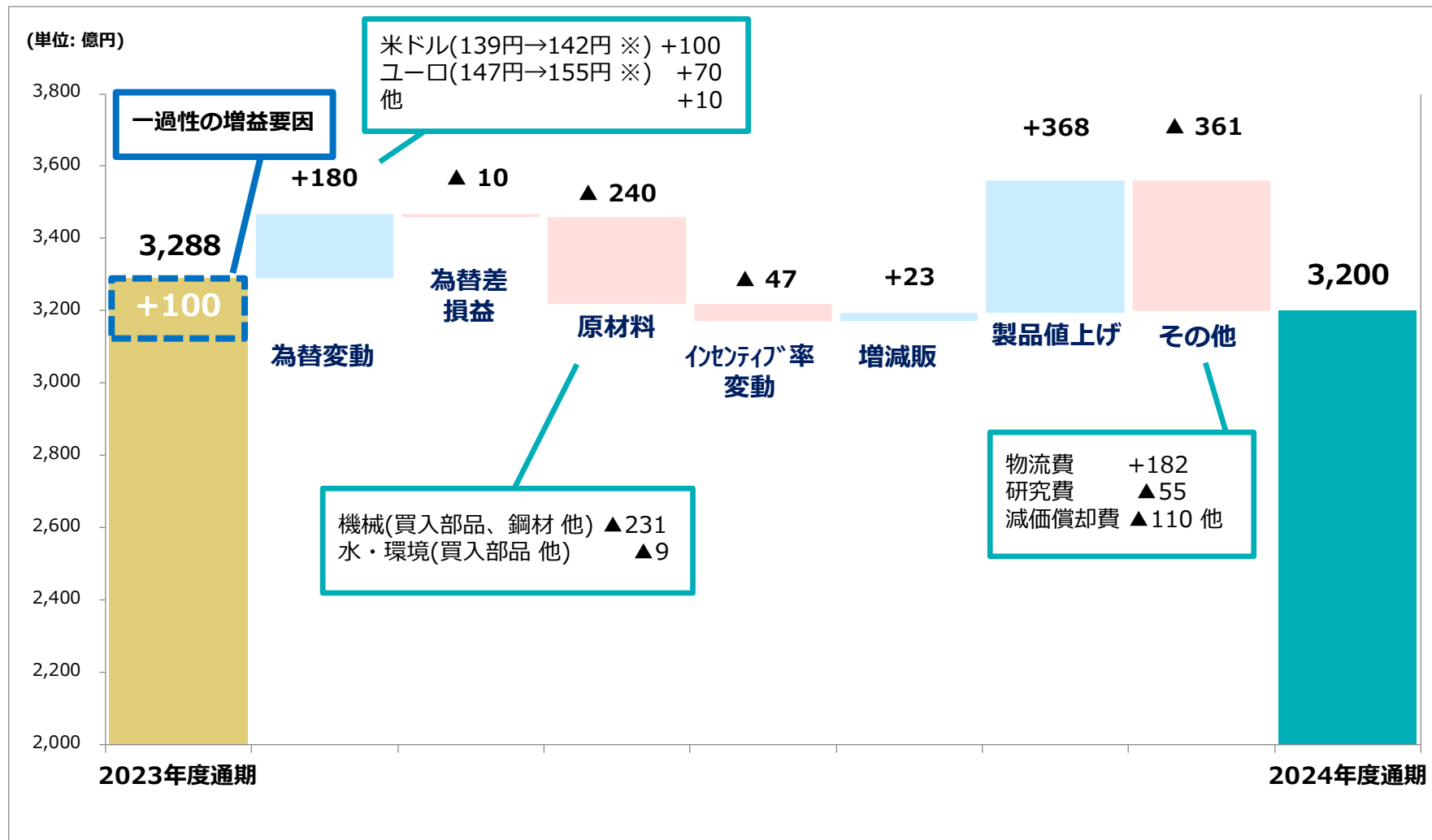
工場の国内回帰により、排水・排ガス案件は増加傾向。
ポンプは前年並み。O&M市場は民間委託の増加と共に拡大が続く。



その他 180億円（前年同期比▲15）

物流など各種サービス事業より構成。

営業利益（▲88億円）の増減要因



※日本からの製品輸出にかかる輸送、在庫期間を加味した利益実現レート

事業セグメント別営業利益予想

(億円)		2024年度 (予想)	2023年度 (実績)	増減
機械	売上高	26,540	26,367	+ 173
	セグメント利益	3,580	3,558	+ 22
	利益率	13.5%	13.5%	▲0.0P
水・環境	売上高	3,780	3,645	+ 135
	セグメント利益	310	305	+ 5
	利益率	8.2%	8.4%	▲0.2P
その他	売上高	180	195	▲ 15
	セグメント利益	10	15	▲ 5
	利益率	5.6%	7.7%	▲2.2P
調整※	セグメント利益	▲ 700	▲ 590	▲ 110
計	売上高	30,500	30,207	+ 293
	営業利益	3,200	3,288	▲ 88
	利益率	10.5%	10.9%	▲0.4P

※調整には親会社での管理部門の費用や基礎研究費、為替差損益が含まれています

■ 設備投資・研究開発費

(億円)	2024年度 (予想)	2023年度 (実績)	2022年度 (実績)
設備投資	1,900	1,470	1,694
研究開発費	1,055	1,001	883

■ 株主還元推移

(億円)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	累計 (5年)	
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,491	1,285	1,748	1,565	2,385	8,473	
還元額	配当 (1株当たり)	441 (36円)	436 (36円)	506 (42円)	525 (44円)	566 (48円)	2,474
	自己株消却	196	199	203	200	300	1,097
	還元額計	636	635	709	725	866	3,571
	総還元性向	43%	49%	41%	46%	36%	42%

株主還元の中長期目標

- 総還元性向40%以上を確保し、50%をめざす
- 取得した自己株式については、即消却を継続する

企業価値の向上

For Earth, For Life

Kubota

■ トラクタ市場台数伸長率（前年同期比）

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-9月	1-12月
2022年	0-40馬力	▲ 10.8%	▲ 18.7%	▲ 21.4%	▲ 26.2%	▲ 15.8%	▲ 17.5%	▲ 19.3%
	40-120馬力	▲ 4.2%	▲ 13.4%	▲ 9.5%	▲ 1.2%	▲ 9.8%	▲ 9.7%	▲ 7.5%
	120-160馬力	+ 10.3%	+ 3.9%	+ 4.4%	+ 12.5%	+ 6.5%	+ 5.7%	+ 7.8%
2023年	0-40馬力	▲ 20.1%	▲ 8.4%	▲ 6.8%	▲ 8.5%	▲ 13.0%	▲ 11.2%	▲ 10.7%
	40-120馬力	▲ 9.2%	▲ 4.5%	▲ 6.5%	▲ 14.0%	▲ 6.5%	▲ 6.5%	▲ 8.6%
	120-160馬力	▲ 0.2%	+ 0.1%	▲ 0.6%	▲ 9.3%	▲ 0.0%	▲ 0.2%	▲ 3.1%

出典：AEM (Association of Equipment Manufacturers)

■ 0-6tバックホー市場台数伸長率（前年同期比）

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-9月	1-12月
2022年		+ 10.2%	▲ 7.7%	+ 7.6%	▲ 3.1%	▲ 0.3%	+ 2.3%	+ 0.8%
2023年		+ 3.8%	+ 10.9%	▲ 3.1%	+ 4.5%	+ 7.7%	+ 3.9%	+ 4.1%

出典：AEM (Association of Equipment Manufacturers)

■ コンパクトトラックローダ市場台数伸長率（前年同期比）

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-9月	1-12月
2022年		▲ 1.7%	▲ 9.1%	▲ 1.1%	+ 12.7%	▲ 6.0%	▲ 4.4%	+ 0.2%
2023年		+ 17.4%	+ 3.3%	+ 5.9%	+ 4.0%	+ 9.4%	+ 8.2%	+ 6.9%

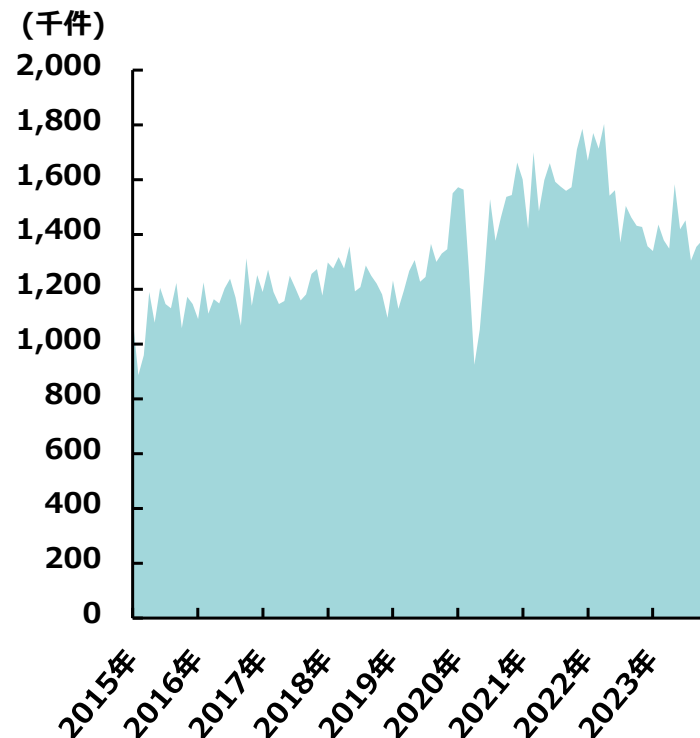
出典：AEM (Association of Equipment Manufacturers)

■ スキッドステアローダ市場台数伸長率（前年同期比）

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-9月	1-12月
2022年		▲ 20.3%	▲ 18.9%	▲ 15.7%	▲ 17.4%	▲ 19.6%	▲ 18.3%	▲ 18.0%
2023年		▲ 5.3%	+ 4.5%	+ 7.9%	+ 28.7%	+ 0.1%	+ 2.6%	+ 10.7%

出典：AEM (Association of Equipment Manufacturers)

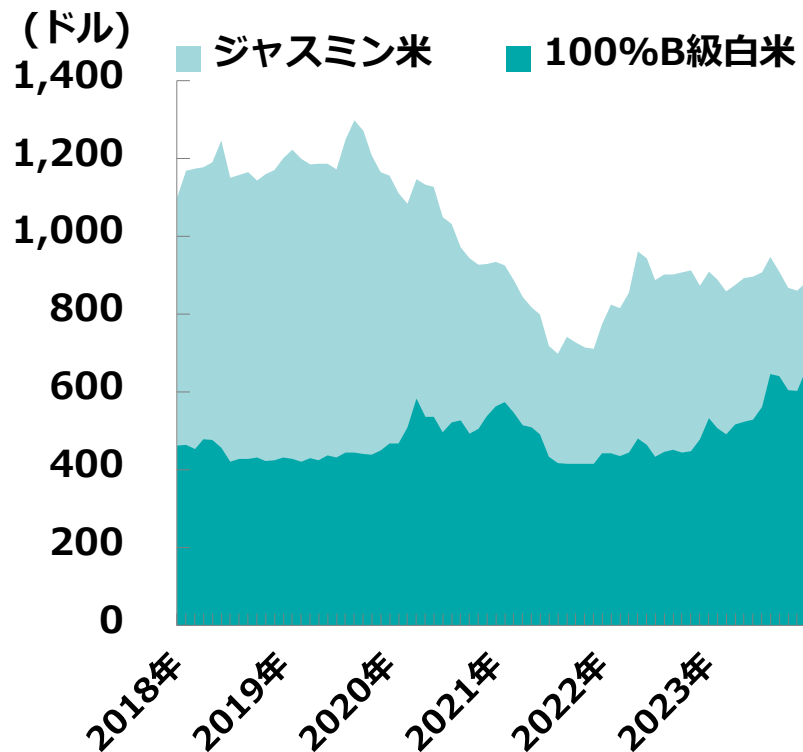
■ 米国住宅着工件数（季節調整済・年率換算）



出典：米国国勢調査局 (U.S. Census Bureau)

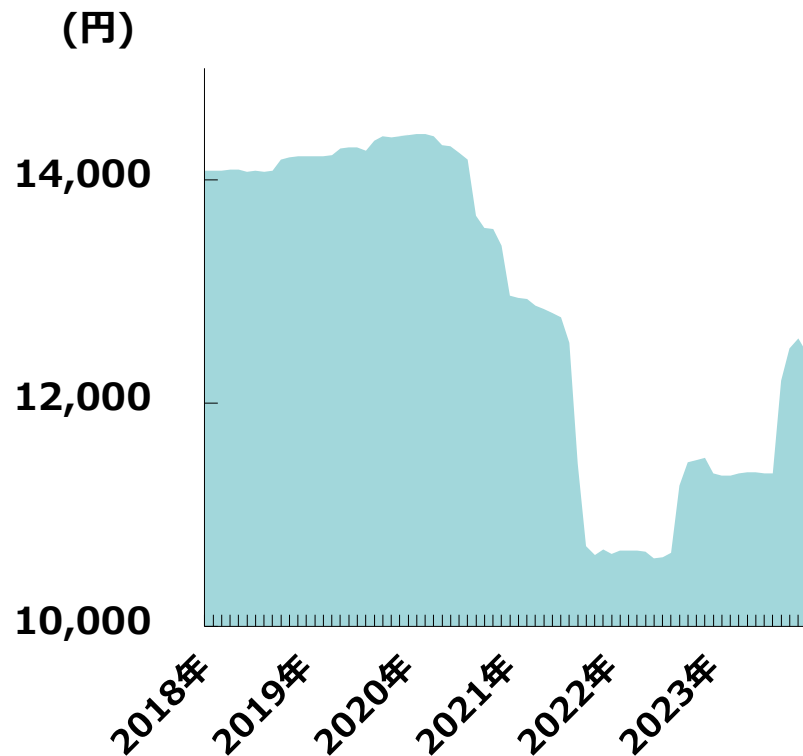
(参考②) タイ・日本参考指標

■ タイ米輸出価格推移 ドル/トン



出典：米国農務省、タイ米輸出協会

■ 日本米の生産者価格推移 円/60kg



出典：農林水産省「農業物価統計調査」

本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。
